

BEANSレポート

1 テーマ 秋から冬の昆虫調べ! (6年生バージョン)

2 はじめの疑問

- ・ 秋から冬にかけて、どういう昆虫がいるのか?
- ・ 冬の昆虫は、どういう場所にいるのか?

3 調べた方法

- ・ 石の下
- ・ 木にひびがある所
- ・ 隠れやすい所
- ・ 虫の気持ちになってみる、という所を中心に探す。

4 調べた結果・わかったこと・考察

○ 結果



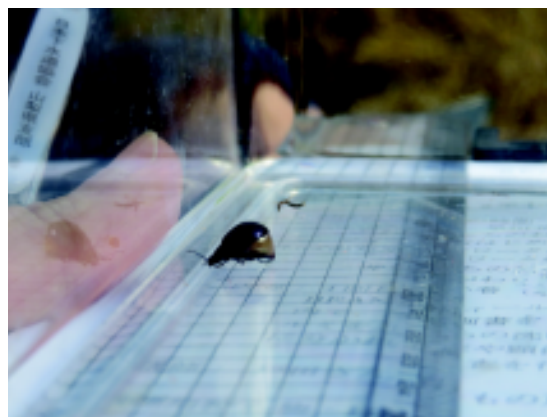
ヨツボシテントウダマシ 場所 木の中



コウロギの幼虫 場所 石の下



オオバコヤが幼虫 場所 木の中



ヨモギハムシ (メス) 場所 分からない



スジコガシラゴミムシダマシ 場所 石の下



トドネオオオワタムシ 場所 空



ハエの仲間 場所 空



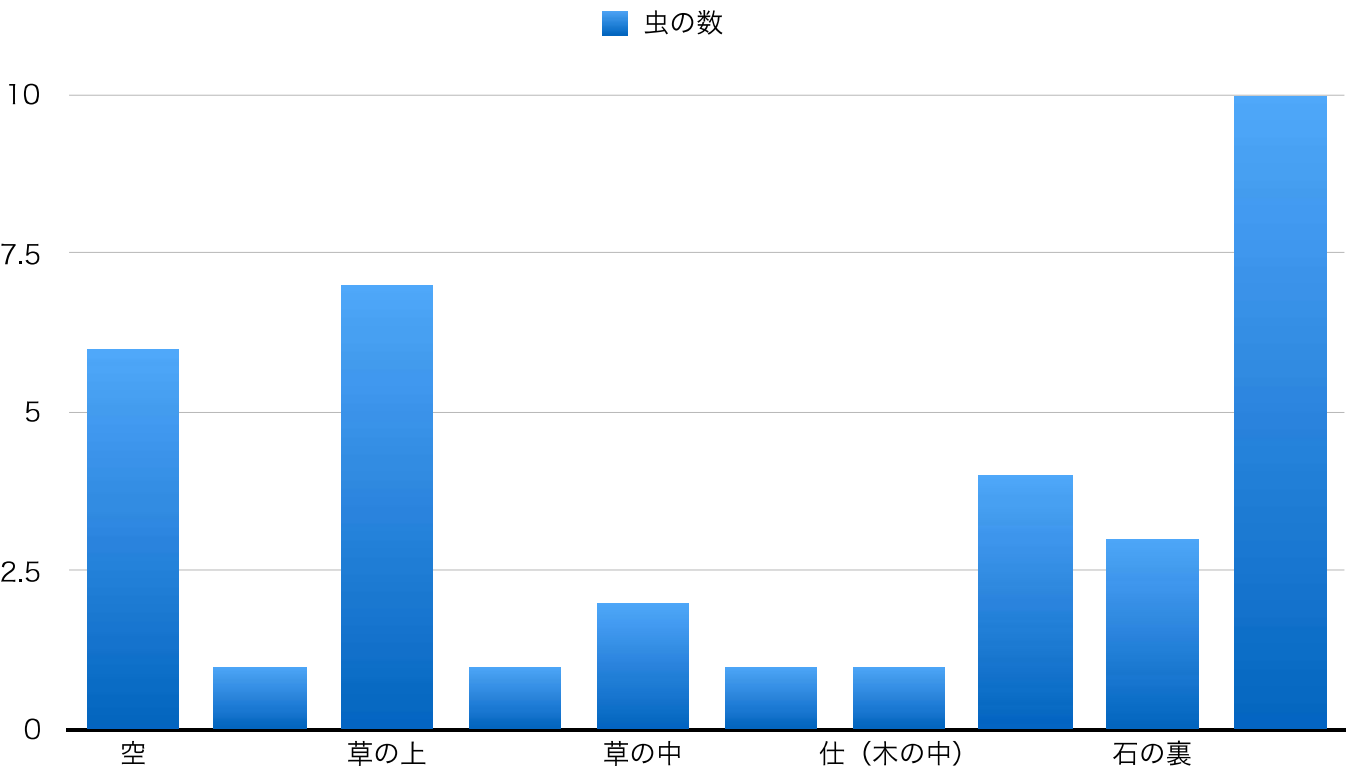
くもの仲間 場所



ハムシの仲間

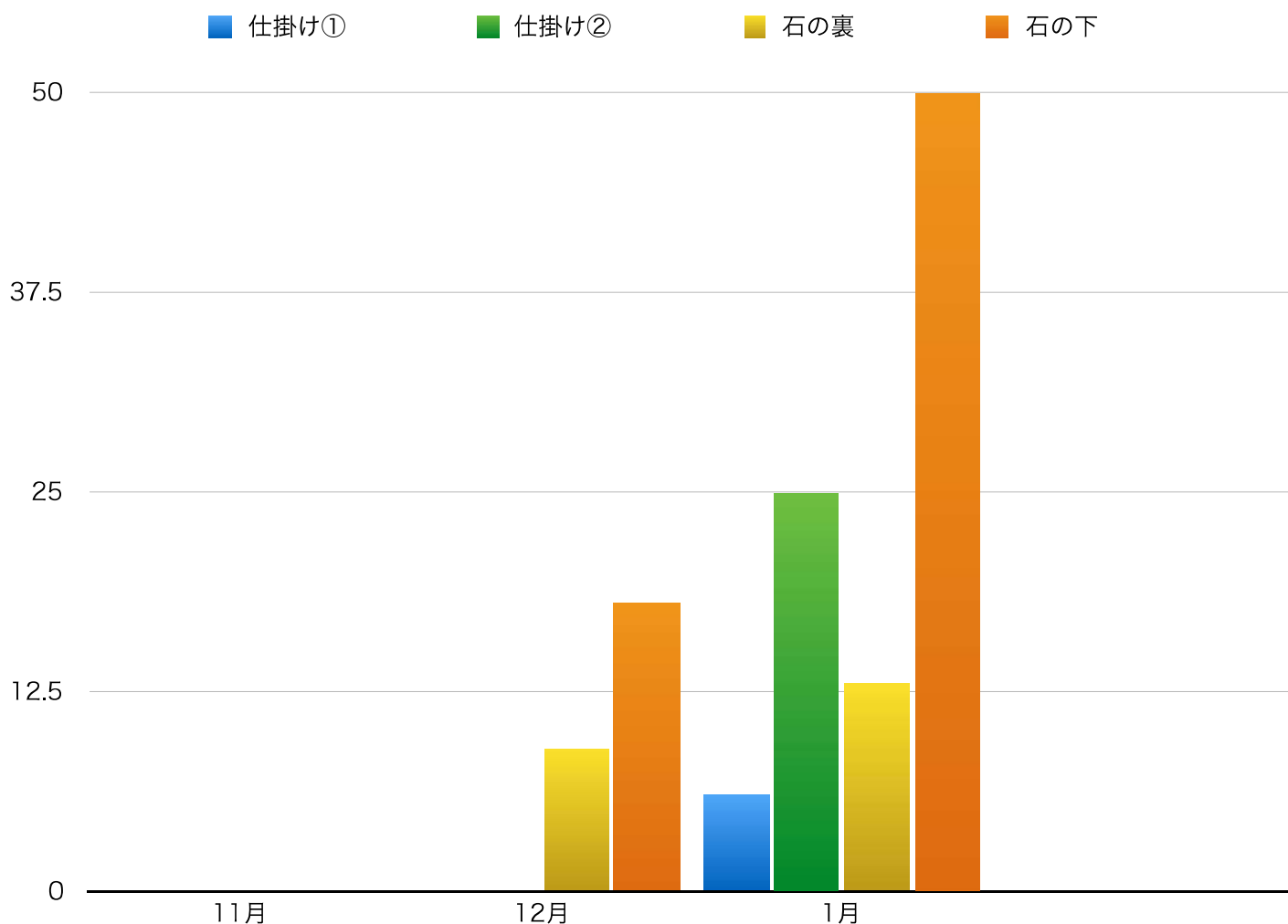
虫のいた場所と数

空	木	草の上	くき	草の中	草の下	仕（木 の中）	仕（木 の下）	石の裏	石の下
6		1	7	1	2	1	4	3	10



月別の虫の数と居場所

	空	木	草の上	くき	草の中	草の下	仕かけ （木の中）	仕かけ （木の下）	石の裏	石の下	全体数
11月	3	1	5								9
12月	3		1	1	2	1			1	2	11
1月			1				1	4	2	8	16



○ わかったこと

- ・ 11月は、草の上や空中に虫が多い。
- ・ 12月は、くきや草の中、草の下、石の下に虫が多い。
- ・ 1月は、仕掛けの中や石の下、裏に虫が多い。特に石の下が多い。
- ・ 仕掛けの中や石の裏、下にいる虫の割合は、11月が0%、12月が約27%、1月が約94%

○ 考察

- ・ 秋から冬にかけて虫は、なるべく風が当たらない場所にいるようになっている。
このことから11月から1月にかけての気候変化に合わせて、虫が居場所を変えていっているのではないかと考える。
- ・ 冬の昆虫は、主に石の裏や下、仕掛けの中、下にいることが多いのは、敵に見つからないし、寒さをしのげる安全な所だからではないかと考える。

5 反省・感想・新たな疑問

●反省

- ・もっと虫の特ちょうを見つけて書きとめておく必要があった。
- ・iPad miniでもっと写真を撮っていれば、もっと情報が正確なものになったと思う。

●感想

- ・ぼくは、虫が少し苦手だった。でも、このBEANSを通して、少しは苦手が克服出来たと思う。
- ・小さい虫でも周りの状況を判断して、行動していることがすごいと思った。これからこの経験を生かして、山に入ったときに虫を探してみたい。

●新たな疑問

- ・トドネオオオワタムシは、11月にはたくさんいたけれど12月、1月になっていくと減っていったのはなぜか。

6 参考文献

- ・ポケット図鑑 文一総合出版
- ・学習科学図鑑 株式会社学習研究社
- ・学研の図鑑 株式会社 学研マーケティング
- ・小学館の学習百科図鑑 全国学校図書館協議会選定図書